

理学療法士の皆様へ 呼吸理学療法症例レジストリ事業のご紹介

症例レジストリとは



症例レジストリは患者が何の疾患でどのような状態かなど、特定の病気、疾患群、治療等の医療情報の収集を目的としたデータベースであり、様々な団体（国、学会、医療機関など）が主導して全国的な医学情報を収集しています。

この情報は、ビッグデータに基づいたエビデンスの基盤となり、国民の健康に貢献することができます。

症例レジストリは、医師を中心とした学会組織ではさかんに行われていますが、理学療法士の団体が主導するレジストリ運用はいまだに少ないのが現状です。

当会がレジストリを行う理由

呼吸理学療法（理学療法士）が国民の健康に貢献するためには、理学療法士一人一人の通常診療や単施設での研究推進だけではなく、全国規模での症例蓄積によって大規模データを収集していく必要があります。

レジストリにて収集するデータは、日常診療の参考資料ならびに最新データに基づく診療ガイドラインへ反映していくことが必要です。

これらを達成するためには、当学会が主導して呼吸理学療法（リハビリテーション）に関するビッグデータの集積が必要です。

Q&A

レジストリに参加する前にお聞きたい質問の例を示します。

Q.参加するために費用は発生しますか？

A.いいえ費用負担は一切ありません。

Q.登録数にノルマはありますか？

A.いいえありません。登録基準に該当する対象者がいましたら、通常診療の状況にあわせての登録をお願いしております。

Q.当施設は対象者が少ないです。この場合はでも参加可能でしょうか？

A.はいできます。症例に限らずぜひ参加をお願いいたします。

Q.患者個人情報の提供は、ありますか？

A.患者個人情報や個人をむすびつく可能性ある情報は当会に提供されませんのでご安心ください。

理学療法士がレジストリに参加するメリット



レジストリに参加することによるメリットは以下が考えられます。

- > 一人一人の患者様だけでなく、呼吸理学療法（リハビリテーション）が必要な国民の健康に貢献します。
- > 担当症例を振り返ることができ、呼吸理学療法（リハビリテーション）についての知識の整理、技能向上につながります。
- > 研究の進め方の基本を理解することができます。
- > 呼吸理学療法（リハビリテーション）の標準的評価の基盤形成に役立ちます。
- > 呼吸理学療法（リハビリテーション）の将来発展に貢献します。

質問等がございましたら、ご遠慮なくお問合せください。

担当 一般社団法人 日本呼吸理学療法学会
レジストリ研究事務局

registry@jsrpt.jspt.or.jp